

だから住みたい 南あわじ

第2次南あわじ市 総合計画

Minamiawaji City

基本構想及び基本計画

【概要版】



平成29年6月 南あわじ市

「だから住みたい 南あわじ」 ～人がつながる 笑顔あふれる ふるさとづくり～ をめざして



南あわじ市では、平成19年3月に策定した「南あわじ市総合計画」に基づき、市民の皆様を主役としたまちづくりを推進し、市勢の均衡ある発展をめざし、各種施策を実施してまいりました。

この間、人口減少や少子高齢化の進展、地域産業を取り巻く環境の変化に加え、自然災害などに対する安全・安心への意識の高まりなど、市民のニーズは多様化かつ複雑化してきております。

南あわじ市は、多彩な食産業、美しい自然、深みのある歴史遺産などの豊かな地域資源を有し、文化活動、市民スポーツも活発に行われるなど意欲ある人材にも恵まれています。それらを最大限に活かし、これからの10年間のまちづくりを総合的かつ計画的に進めるため、「だから住みたい 南あわじ～人がつながる 笑顔あふれる ふるさとづくり～」を将来像に掲げ、依然として厳しい財政状況も踏まえつつ、平成38年度までの10年間を見通した「第2次南あわじ市総合計画」を策定いたしました。

私共は、本計画に基づき、これまで市民の皆様と進めてきました協働によるまちづくりを更に推進しつつ、ふるさと南あわじで、市民の皆様が人と人とのつながりを大切にしながら、すべての人が生きいきといつまでも健康で周囲から認められる魅力あふれるまちづくりを進めていきます。

その実現のため、「対話と行動」を市政運営の基本方針として、行政は、市民の発意や行動をサポートする立場であるとの考え方に立ち、この南あわじ市を更に「魅力あるまち」へと深化させます。職員一人ひとりが市民の皆様方と顔と顔とでつながり、地域の課題や意志を正確に把握し、最善な対処方法を見つけ出し、その実現に向けて後押しをしていきますので、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、慎重な審議を賜りました審議会委員及び市議会議員の方々をはじめ、多くのご意見をいただいた市民の皆様には厚くお礼申し上げます。

平成 29 年 6 月

南あわじ市長

守本 憲弘

～目 次～

序論	1
1. 策定の趣旨	1
2. 計画の構成と期間	1
基本構想	2
1. 南あわじ市の将来像	2
2. まちづくりの進め方	3
3. 政策体系	4
基本計画	6
まちづくりの柱Ⅰ 活気ある仕事づくり	6
まちづくりの柱Ⅱ ひかり輝く人づくり	8
まちづくりの柱Ⅲ 魅力あふれるまちづくり	11

1. 策定の趣旨

南あわじ市は、平成 17 年 1 月 11 日に 4 つの町が対等合併して誕生しました。

平成 19 年 3 月には第 1 次南あわじ市総合計画を策定し、「『食』がはぐくむ ふれあい共生の都市～夢・知恵・元気あふれる 豊穰の郷づくり～」を将来像に掲げ、まちづくりを進めてきました。

南あわじ市では、時代の流れとともに今後の課題を的確に捉え、市民や関係機関と連携しながらまちづくりを進めていくとともに、10 年後の南あわじ市のめざす姿を明らかにし、南あわじ市で生まれ育ったことを誇りに思い、これからもこのまちに住み続けたいと感じられるまちづくりに取り組んでいくため、「第 2 次南あわじ市総合計画」を策定しました。

また、平成 28 年 3 月には人口、経済、地域社会の課題に一体的に取り組むため「南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しており、当該戦略と連携を図りながら、まちづくりを進めていきます。

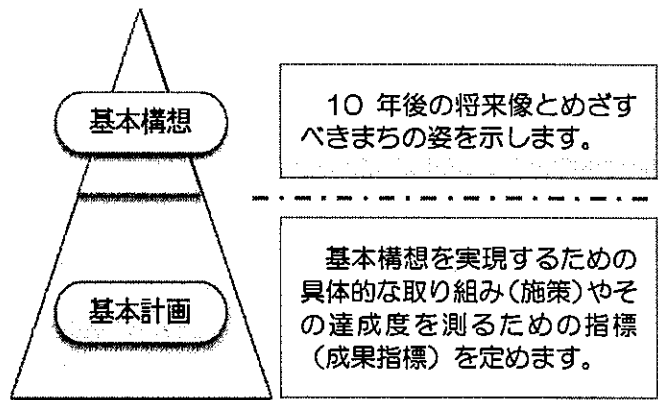
2. 計画の構成と期間

総合計画とは、南あわじ市の最上位計画でまちづくりの基本方針を示すものです。

総合計画は、「基本構想」と「基本計画」で構成します。

基本構想の計画期間は、平成 29 年度から平成 38 年度までの 10 年間とします。

また、平成 29 年度から平成 33 年度までの 5 年間の前期基本計画、平成 34 年度から平成 38 年度までの 5 年間の後期基本計画とします。



■計画の期間

	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	平成 37 年度	平成 38 年度
基本構想	基本構想 (10 年)									
基本計画	前期基本計画 (5 年)					後期基本計画 (5 年)				
参考)	南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略人口ビジョン									
地域創生総合戦略	平成 72 年度を目標年次として設定									
	～平成 31 年度									

基本構想

1. 南あわじ市の将来像

1. 将来像・まちづくりの柱

【 南あわじ市のめざすべき将来像 】

だから住みたい 南あわじ

～人がつながる 笑顔あふれる ふるさとづくり～

先人たちのたゆまぬ努力によって受け継がれたこの地に、これからも市民が「住み続けたい」と思い、市外の方に「これから南あわじ市に行きたい、住んでみたい」と思ってもらい、すべての人が生きいきと社会貢献を通じた生きがいを持ち続け、健康で周囲から認められる魅力あふれるまちづくりを進めることが重要です。そのため、市民の積極的な参画を得ながら、南あわじ市の現状と課題を認識し、協働により市民一人ひとりの幸福と地域の幸福を実現していきます。

将来像の実現に向けては、南あわじ市を支えている産業を維持・展開していく仕事の確保や、その仕事に就き今後このまちを担っていく人づくりを行いながら、市民が安全に安心して暮らすことができる環境整備を進めていく必要があります。そこで、3つのまちづくりの柱を掲げます。

まちづくりの柱Ⅰ 活気ある仕事づくり

若者世代の人口流出に歯止めをかけるためには、市内において魅力ある働く場を創出することが重要です。

このためには、地域のふるさとと資源を活かした農畜水産業・地場産業・観光業の振興をはじめとして、優良企業の誘致や異業種・産官学金労言士の連携による新たな産業づくりを推進することにより、交流促進、新たな雇用の創出につながる活気ある仕事づくりを行います。



まちづくりの柱Ⅱ ひかり輝く人づくり

まちづくりにおいては「人」がすべての中心であり、次世代を担う人材を育成することが重要です。

子どもを安心して産み育てられる環境の充実をはじめ、地域への郷土愛の醸成や生涯にわたってスポーツや文化芸術活動にふれあう環境を整備し、市民一人ひとりが、南あわじ市の一員、地域の一員として自立し、共生の心をもって生活していくことが重要です。

このように人と人とのつながりを大事にしながら、市民一人ひとりがひかり輝く「人」づくりを行います。



まちづくりの柱Ⅲ 魅力あふれるまちづくり

安全に安心して暮らせることは、南あわじ市への定住を進めるうえで、重要な要因です。

南あわじの豊かな自然環境を守り続けるとともに、快適な生活環境づくりを行い、自然災害や老後の不安を解消し、市民誰もが生涯現役で活躍できるまちを形成することにより、いつまでも南あわじで暮らし続けたいと思う魅力あふれるまちづくりを行います。

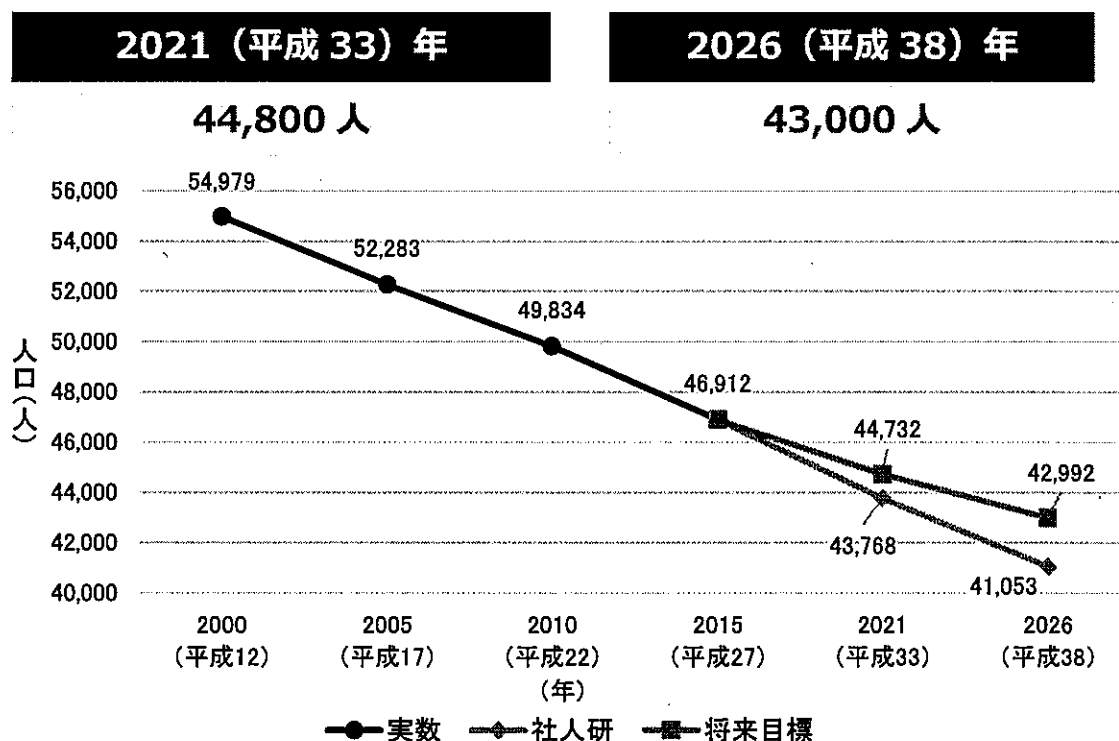


2. 将来人口

南あわじ市の人口は、このままのペースで人口減少や少子高齢化が進むとすれば、基本構想の目標年次である平成38年には42,000人を割り込むことが予想されますが、南あわじ市が魅力あるまちづくりをめざすには、一定の人口確保が必要です。

このため、今後も引き続きさまざまな人口減少対策を実施することで地域活力の源である人口の減少傾向を緩やかにすることにより、計画策定5年後の平成33年の人口を44,800人、基本構想の目標年次である平成38年の人口を43,000人として想定したまちづくりに取り組むこととします。

■ 将来人口の目標



※2015 (平成27) 年までは実数 (国勢調査)

※社人研：国立社会保障・人口問題研究所

※将来目標の算出方法は下記のとおり

- ・出生数を、2020年まで概ね現状の出生数を維持、2030年時点で合計特殊出生率2.15と想定
- ・純移動率を、5年後に0と想定

2. まちづくりの進め方

総合計画に基づくまちづくりを効率的・効果的に進めるにあたり、3項目を掲げ取り組みます。

■ 市民の参画と協働によるまちづくり

■ 自立・持続可能な行財政運営によるまちづくり

■ 広域連携によるまちづくり

基本構想

3. 政策体系

計画策定の前提

社会潮流

1. 人口減少・少子高齢化の進展
2. 地域産業を取り巻く環境の変化
3. 安全・安心に対する意識の高まり
4. 東日本大震災後のエネルギー構成の変化
5. 情報化のさらなる進展
6. 住民・行政のパートナーシップ

南あわじ市の魅力

1. 多彩な自然が広がるまち
2. 地域の特性を生かした特徴的な産業が盛んなまち
3. 史跡や歴史文化が豊かなまち
4. 交通アクセスが便利なまち
5. 子育て支援が充実しているまち
6. 高齢者が元気に働いているまち

市民意識調査結果

18歳以上の市民5,000人を対象にアンケート調査を実施し、2,631人に回答をいただきました。

■南あわじ市への定住意向

「住み続けたい」と答えた人が約81.4%と定住意向が強い傾向です。一方、若年層では定住意向が低くなる傾向にあり、その理由として「働く場がない」「買い物や通勤・通学が不便」が多く挙げられています。

■南あわじ市の人口減少対策

「市内に働く場を増やし、南あわじ市出身の若者の流出を抑える」と答えた人が80.7%、次いで「子育てしやすい環境をPRし、子育て層の移住を促進する」と答えた人が35.2%と高い割合を占めています。

■小中学生・高校生の将来に対する意識

「南あわじ市外で暮らし、働きたい」と答えた人が小中学生・高校生それぞれで約30~40%とやや高い状況にあります。

市の将来像

だから住みたい
南あわじ

人がつながる 笑顔あふれる ふるさと南あわじ

基本構想

まちづくりの柱

まちづくりの目標

基本施策

I 活気ある 仕事づくり

I-1 【農畜水産業】
南あわじが世界に誇る食づくり

I-1-1 農畜産業の振興

I-1-2 水産業の振興

I-2 【商工業・地場産業】
いつまでも継承される伝統づくり

I-2-1 商工業の振興

I-2-2 地場産業の振興

I-3 【産業の創生】
南あわじならではの新たな産業づくり

I-3-1 農畜水産物の高付加価値化と消費の拡大推進

I-3-2 雇用の創出・促進

I-4 【観光・交流】
何度でも南あわじに
行ってみたいくなるおもてなしづくり

I-4-1 南あわじの情報発信・味力発信

I-4-2 観光交流の促進

II ひかり輝く 人づくり

II-1 【子育て・教育環境】
南あわじの次世代を担う人づくり

II-1-1 安心して子どもを産み育てやすい体制の充実

II-1-2 学校教育の充実

II-1-3 子どもたちの健全育成と体験活動の推進

II-1-4 安全・安心な教育環境の充実

II-2 【郷土愛の醸成】
南あわじが大好き!と思える
郷土愛豊かな人づくり

II-2-1 伝統文化とふるさと資源の継承推進

II-2-2 歴史資源の発掘と保存・活用の推進

II-3 【生涯学習】
未来をひらく知性・感性
豊かな人づくり

II-3-1 生涯学習活動の推進

II-3-2 生涯スポーツの振興

II-4 【市民主体のまちづくり】
互いに支え合い、
協力し合える人づくり

II-4-1 地域コミュニティづくりの推進

II-4-2 男女共同参画社会づくりの推進

II-4-3 人権と平和を尊重する環境づくりの推進

III 魅力あふれる まちづくり

III-1 【防災・消防】
どんな災害にも負けないまちづくり

III-1-1 災害に強いまちづくりの推進

III-1-2 円滑な消防防災活動の推進

III-2 【交通・防犯】
市民の安全・安心を守るまちづくり

III-2-1 交通安全対策の推進

III-2-2 防犯対策の推進

III-3 【健康・福祉】
誰もが元気でいきいきと
暮らせるまちづくり

III-3-1 健康づくりの推進と地域医療の充実

III-3-2 長寿社会づくりの推進

III-3-3 地域福祉の推進

III-4 【環境共生】
南あわじを形づくる山・川・海を
大切にすまちづくり

III-4-1 環境保全・環境衛生の推進

III-4-2 環境負荷の少ないエネルギーの推進

III-5 【基盤整備】
南あわじならではの
生活環境が整うまちづくり

III-5-1 都市機能の整備推進

III-5-2 移住・定住の促進

III-5-3 地域公共交通の整備推進

III-5-4 公共施設等の最適な配置の実現

基本計画

まちづくりの柱

I 活気ある仕事づくり

まちづくりの目標

I-1 【農畜水産業】南あわじが世界に誇る食づくり

地域を支えてきた農畜水産業のさらなる振興に向けて、生産基盤の整備や経営基盤の強化、付加価値の向上により産業としての魅力を高めるとともに、多様な担い手を育成し、南あわじ市の新鮮でおいしい野菜、魚、畜産物を売り出していきます。



基本施策
I-1-1

農畜産業の振興

<めざす姿>

- さまざまな世代の市民が農地を守り農業が維持されるとともに、畜産業が振興することにより、耕畜連携が強化され、農畜産物の生産力が向上している

<主な成果指標(例)>

指標名	現状 (H27)	目標 (H33)
総農家数★	4,108 戸	4,000 戸
年間新規就農者数 (45 歳未満) ★	14 人	20 人

基本施策
I-1-2

水産業の振興

<めざす姿>

- 漁業生産基盤や漁場環境の整備により漁業の生産性が高まり、資源管理の推進により漁獲量が安定している

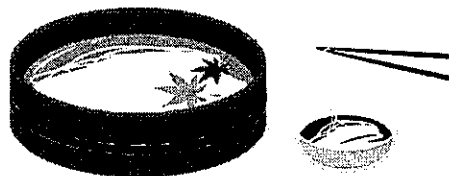
<主な成果指標(例)>

指標名	現状 (H27)	目標 (H33)
総漁家数★	482 戸	486 戸
漁獲量★	2,747 トン	2,912 トン

まちづくりの目標

I-2 【商工業・地場産業】いつまでも継承される伝統づくり

商工業・地場産業のさらなる振興に向けて、経営体質・経営力向上により雇用を確保するとともに、関係団体との連携や地場産業の販路拡大などにより淡路瓦や淡路手延素麺をはじめとする伝統ある地場産業を守りつづけていきます。



基本施策
I-2-1

商工業の振興

<めざす姿>

- 商工業者の経営が安定し、地域の企業活動が活発になり、就労の場が拡大している

<主な成果指標(例)>

指標名	現状 (H27)	目標 (H33)
商工会員数	1,654 人	1,700 人
商工業制度融資利子補給 金対象数	167 件	160 件

基本施策
I-2-2

地場産業の振興

<めざす姿>

- 優れた伝統技術が継承され、後継者が育成されている

<主な成果指標(例)>

指標名	現状 (H27)	目標 (H33)
淡路瓦を使用し、屋根工事 の補助金を受けた件数★	88 件	107 件
淡路手延素麺生産数★	2,325 千束	2,880 千束

※ 総合戦略と関連する施策については、★を付記します。

基本計画

まちづくりの目標

I-3 【産業の創生】南あわじならではの新たな産業づくり

南あわじの新たな産業づくりに向けて、地元特産品の販路拡大・付加価値向上や6次産業化などに関する支援とともに企業誘致や起業機会づくり、地域課題の解決に結びつく雇用の創出に向けた取り組みを推進し、世界に通用する南あわじの新たな産業の顔を創っていきます。



基本施策
I-3-1

農畜水産物の高付加価値化と消費の拡大推進

<めざす姿>

- 農畜水産物の消費が拡大され、特産品を活用した地域のにぎわいが創出されている

<主な成果指標(例)>

指標名	現状 (H27)	目標 (H33)
(市全体) 鮮魚平均販売単価★	610 円/k g	608 円/k g
6次産業化事業計画(総合化事業計画) 国認定件数★	13 件	14 件

基本施策
I-3-2

雇用の創出・促進

<めざす姿>

- 企業誘致や新規分野における起業を促進することで、地域の雇用が創出され、市民が安心して働いている

<主な成果指標(例)>

指標名	現状 (H27)	目標 (H33)
企業等立地数★	19 社	31 社
創業者数★	2 人	8 人

まちづくりの目標

I-4 【観光・交流】何度でも南あわじに行ってみたくなるおもてなしづくり

交流人口の拡大に向けて、南あわじ市の魅力に関するポータルサイトやSNSなどでの情報発信の促進、豊かな農畜水産物・加工品などの味力発信と販売促進を行い、南あわじ市のファン、リピーターを増やしていきます。



基本施策
I-4-1

南あわじの情報発信・味力発信

<めざす姿>

- 市外の人々や企業、各種団体に南あわじ市が認知され、「選ばれる地域」となっている
- 市民が、行政の動きや学校活動、まちの各種イベント、地域のさまざまな活動を知ることでのふるさとへの関心が高まっている

<主な成果指標(例)>

指標名	現状 (H27)	目標 (H33)
SNS登録者数等★	511 人	1,900 人
三力(魅力・味力・見力) 発信協力店舗等への卸売額★	—	9,000 千円

基本施策
I-4-2

観光交流の促進

<めざす姿>

- 市民誰もが、南あわじ市の魅力を紹介・案内することができるとともに、おもてなしの心で来訪者に接することで、来訪者その魅力を満喫している

<主な成果指標(例)>

指標名	現状 (H27)	目標 (H33)
観光促進支援補助対象観光客数★	750 人 (合宿誘致)	1,000 人
観光入込客数	3,031,765 人	3,000,000 人

※平成27年はあわじ花博2015花みどりフェアが開催され、例年より観光客が増加しています。

基本計画

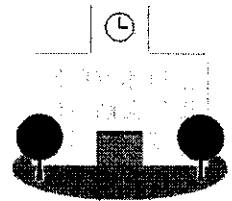
まちづくりの柱

Ⅱ ひかり輝く人づくり

まちづくりの目標

Ⅱ-1 【子育て・教育環境】南あわじの次世代を担う人づくり

妊娠、出産、子育てまでの切れ目ない支援や子育て環境、次世代を担う子どもたちの教育環境を充実させ、誰もが安心して子どもを産み育て学ぶことができるまちづくりを進めます。



基本施策
Ⅱ-1-1

安心して子どもを産み育てやすい体制の充実

<めざす姿>

- 充実した保育・教育環境のもと、子育て世代が安心して子どもを産み育てることができ、子どもたちが健やかに成長している

<主な成果指標（例）>

指標名	現状（H27）	目標（H33）
出生数★	367人	345人
保育料等軽減対象児童数★	1,119人	1,073人

基本施策
Ⅱ-1-2

学校教育の充実

<めざす姿>

- 子どもたちが確かな学力を身につけ、豊かな心と健やかな体を育み、南あわじ市が大好きな子どもが増えている

<主な成果指標（例）>

指標名	現状（H27）	目標（H33）
全国学力テスト平均正答率★	±5%以内	プラス以上
学校に行くのが楽しいと思う児童生徒の割合★	80.7%	100.0%

基本施策
Ⅱ-1-3

子どもたちの健全育成と体験活動の推進

<めざす姿>

- 地域の人々に見守られながら、さまざまな体験活動を通して子どもたちが健全に育っている

<主な成果指標（例）>

指標名	現状（H27）	目標（H33）
学童保育利用児童数★	280人	360人
放課後子ども教室利用児童数★	113人	160人

基本施策
Ⅱ-1-4

安全・安心な教育環境の充実

<めざす姿>

- 子どもたちが良好な教育環境のもと、安全に安心して教育を受けている

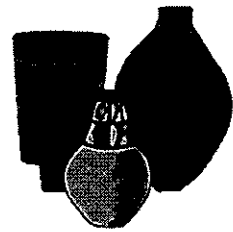
<主な成果指標（例）>

指標名	現状（H27）	目標（H33）
学校の可動式コンピューター（タブレット）設置率★	0.0%	100.0%
学校の空調設備設置率★	27.0%	100.0%

まちづくりの目標

Ⅱ-2 【郷土愛の醸成】南あわじが大好き！と思える郷土愛豊かな人づくり

地域の歴史・文化や松帆銅鐸をはじめとする歴史遺産や文化財を守り続けるとともに、祭りや伝統文化を大切にしながら地域への郷土愛を醸成し、人間性豊かな人材を育成します。



基本施策
Ⅱ-2-1

伝統文化とふるさと資源の継承推進

<めざす姿>

- 子どもたちや若者が、自分たちの住む地域や人に愛着や感謝の気持ちを持ち、祭りや伝統文化を愛する担い手が育っている

<主な成果指標(例)>

指標名	現状 (H27)	目標 (H33)
南あわじ子ども芸能発表会における発表団体数	16 団体	20 団体

基本施策
Ⅱ-2-2

歴史資源の発掘と保存・活用の推進

<めざす姿>

- 市民や来訪者が市内の歴史資源を知り、地域活性化につながっている

<主な成果指標(例)>

指標名	現状 (H27)	目標 (H33)
文化財の公開回数★	1 回	3 回
慶野松原植樹会や学習会への参加者数★	120 人	200 人

まちづくりの目標

Ⅱ-3 【生涯学習】未来をひらく知性・感性豊かな人づくり

生涯学習を通じて、市民誰もが心身を育み、自らの生きがいや自己実現に向かって積極的に取り組むことができる人々を増やします。



基本施策
Ⅱ-3-1

生涯学習活動の推進

<めざす姿>

- 市民の生涯学習活動が盛んに行われ、芸術文化に親しみ、交流が生まれている

<主な成果指標(例)>

指標名	現状 (H27)	目標 (H33)
図書貸し出し冊数	237 千冊	245 千冊
公民館講座開講数	33 講座	35 講座

基本施策
Ⅱ-3-2

生涯スポーツの振興

<めざす姿>

- 市民誰もがスポーツ活動に親しみ、交流が生まれている

<主な成果指標(例)>

指標名	現状 (H27)	目標 (H33)
南あわじ市体育協会が主催するスポーツ大会参加人数	938 人	1,000 人
スポーツ施設の年間利用者数	214,381 人	215,000 人

基本計画

まちづくりの目標

Ⅱ-4 【市民主体のまちづくり】互いに支え合い、協力し合える人づくり

市民、地域、行政が対等な立場で地域の課題を認識したうえで、市民と行政がパートナーシップの関係を持ちながら、多様な市民が参画し、協力し合えるまちづくりに取り組みます。

基本施策
Ⅱ-4-1

地域コミュニティづくりの推進

<めざす姿>

- 多くの市民が交流イベントやまちづくり活動への参加を通じ、ふれあい、つながっている
- 地域コミュニティ内での世代を超えたふれあい活動や、学校・家庭・地域の連携のもと、体験・交流・遊びなどを通して、子どもからお年寄りまでみんなが楽しんでいる

<主な成果指標（例）>

指標名	現状（H27）	目標（H33）
地域計画策定件数★	—	5件
地域と学校が連携・協働により行われた取組件数	60件	80件

基本施策
Ⅱ-4-2

男女共同参画社会づくりの推進

<めざす姿>

- 多くの市民がまちづくりに参加し、男女が互いに支え合いそれぞれの能力を十分に発揮している

<主な成果指標（例）>

指標名	現状（H27）	目標（H33）
各種審議会等女性委員登用率★	20.0%	30.0%

基本施策
Ⅱ-4-3

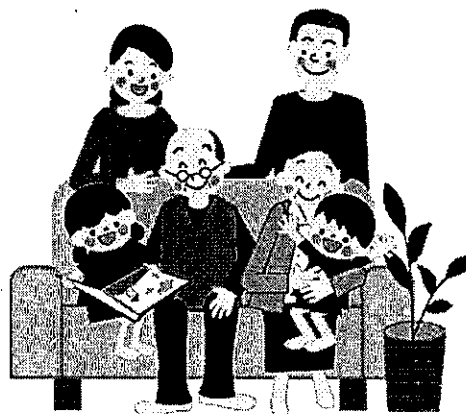
人権と平和を尊重する環境づくりの推進

<めざす姿>

- 身近な人権問題に対する学習の機会や戦争などの歴史教育により、命の尊さが語り継がれ、一人ひとりの個性が尊重されているまちとなっている

<主な成果指標（例）>

指標名	現状（H27）	目標（H33）
戦没者追悼式への参加者数	278人	250人
人権問題に関する相談件数	1件	1件



まちづくりの柱

Ⅲ 魅力あふれるまちづくり

まちづくりの目標

Ⅲ-1 【防災・消防】 どんな災害にも負けないまちづくり

南海トラフ巨大地震など今後発生が懸念される自然災害に対して、自助・共助・公助による地域の防災力の向上やまちの安全性を高め、被害の少ない安全で安心なまちづくりを進めます。



基本施策
Ⅲ-1-1

災害に強いまちづくりの推進

<めざす姿>

- 自然災害による被害が軽減されるとともに、耐震化などによる地震に強いまちづくりが進むことにより、市民誰もが安全に安心して暮らしている

<主な成果指標（例）>

指標名	現状 (H27)	目標 (H33)
浸水被害区域★	3.0 km ²	2.5 km ²
多面的機能維持活動参加組織数（農業者と地域住民で構成する組織）★	83 組織	90 組織

基本施策
Ⅲ-1-2

円滑な消防防災活動の推進

<めざす姿>

- 事前の備えをして、火災や災害発生時において自助・共助・公助で円滑な避難・救援活動が行われることにより、被災者が少なく、被害規模が小さくなっている

<主な成果指標（例）>

指標名	現状 (H27)	目標 (H33)
自主防災組織が消防団と連携した防災訓練の実施率★	97.0%	100.0%
防災行政無線個別受信機の各世帯への設置率	0.0%	100.0%

まちづくりの目標

Ⅲ-2 【交通・防犯】 市民の安全・安心を守るまちづくり

子どもから高齢者まで市民誰もが安全に生活できるように、交通安全対策や防犯対策、多様化する消費者トラブルへの相談体制を充実させ、安全で安心なまちづくりを進めます。



基本施策
Ⅲ-2-1

交通安全対策の推進

<めざす姿>

- 交通ルールやマナーの啓発、安全な通行環境の整備により、交通事故に起因する死傷者が少なくなっている

<主な成果指標（例）>

指標名	現状 (H27)	目標 (H33)
主要な道路におけるグリーンベルト設置率★	1.3%	4.0%
交通事故発生件数	252 件	230 件

基本計画

基本施策
Ⅲ-2-2

防犯対策の推進

<めざす姿>

- 地域防犯体制の強化や環境の整備により、犯罪や消費者被害が少ない安全なまちになっている

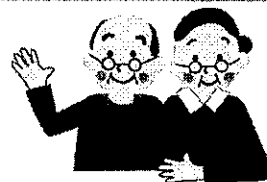
<主な成果指標（例）>

指標名	現状（H27）	目標（H33）
市内犯罪発生件数	261件	250件
まちづくり防犯組織への参加自治会数	184地区	200地区

まちづくりの目標

Ⅲ-3 【健康・福祉】誰もが元気でいきいきと暮らせるまちづくり

市民一人ひとりが、健康増進や予防に対する意識を高め、高齢者や障がい者の皆さんが地域での役割や生きがいを持ち、誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを進めます。



基本施策
Ⅲ-3-1

健康づくりの推進と地域医療の充実

<めざす姿>

- 健康づくりに関心を持ち、取り組むことにより、市民が心もからだも健康に生活し、また福祉医療及び地域医療体制の充実により、市民が安心して医療サービスを受けることができる

<主な成果指標（例）>

指標名	現状（H27）	目標（H33）
町ぐるみ健診受診人数	9,441人	9,500人
肥満の割合	20.5%	19.0%

基本施策
Ⅲ-3-2

長寿社会づくりの推進

<めざす姿>

- 住み慣れた地域で生活できる環境が整っており、高齢者がさまざまな場に社会参加することで、生きがいを持って暮らしている

<主な成果指標（例）>

指標名	現状（H27）	目標（H33）
シルバー人材センター会員数	574人	600人
いきいき百歳体操実施箇所数	68箇所	100箇所

基本施策
Ⅲ-3-3

地域福祉の推進

<めざす姿>

- 地域社会の一員として地域福祉を支える心を持つ市民が育つとともに、自立化・社会参加できる環境を整えることにより、住み慣れた地域で安心して暮らしている

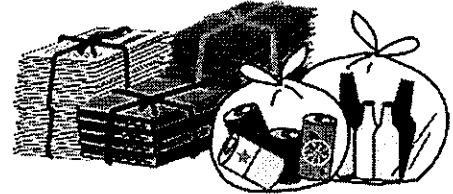
<主な成果指標（例）>

指標名	現状（H27）	目標（H33）
特例子会社設置数★	0件	1件
生活保護世帯の就労達成率	18.4%	52.5%

まちづくりの目標

Ⅲ-4 【環境共生】南あわじを形づくる山・川・海を大切にすまちづくり

南あわじ市が有する豊かな自然環境や田園風景は大切な財産であり、今後も環境美化活動や環境保全活動を進め、花と緑に囲まれた住環境で暮らせるまちづくりを進めます。



基本施策
Ⅲ-4-1

環境保全・環境衛生の推進

<めざす姿>

- 地域ぐるみで環境保全活動に参加し、市民・事業者のごみの資源化により廃棄物が減少しており、また、生活排水が適正に処理され、美しい自然景観が保たれている

<主な成果指標（例）>

指標名	現状（H27）	目標（H33）
リユースへの関心（申請件数）★	0件	30件
汚水処理人口普及率★	83.5%	94.3%

基本施策
Ⅲ-4-2

環境負荷の少ないエネルギーの推進

<めざす姿>

- 市全体で再生可能エネルギーの活用や温室効果ガス削減に取り組むことにより、環境負荷の小さいライフスタイルが実践されている

<主な成果指標（例）>

指標名	現状（H27）	目標（H33）
温室効果ガス排出量	12,589 トン CO ₂ (H25)	10,251 トン CO ₂

まちづくりの目標

Ⅲ-5 【基盤整備】南あわじならではの生活環境が整うまちづくり

南あわじ市の地勢を活かした計画的な都市機能の配置を進め、公共交通や公共施設、インフラ施設の維持管理・連携強化を行うとともに、若者の出会いの場の創出や移住・定住者の定住環境整備を進めることにより、南あわじ市に住みたい、住んでみたいと思えるまちづくりを進めます。



基本施策
Ⅲ-5-1

都市機能の整備推進

<めざす姿>

- 計画的なまちづくりの推進により、田園や自然景観が保全され、生活に必要な都市機能が維持されている

<主な成果指標（例）>

指標名	現状（H27）	目標（H33）
住み良いと感じる市民の割合	83.5%	85.0%
公園や憩いの場に対する市民の満足度	43.8%	45.0%

基本施策
Ⅲ-5-2

移住・定住の促進

<めざす姿>

- 市民や移住者の快適な住環境が整い、地域活動が維持されることにより移住・定住者が増えている

<主な成果指標（例）>

指標名	現状（H27）	目標（H33）
ハッピーマジック事業での成婚数★	1組	3組
田舎暮らし相談件数★	150件	200件

基本計画

基本施策
Ⅲ-5-3

地域公共交通の整備推進

<めざす姿>

- 利用しやすい地域公共交通網が整っていることにより、市民や南あわじ市を訪れる方が安心して快適に市内を移動している

<主な成果指標（例）>

指標名	現状（H27）	目標（H33）
コミュニティバス利用者数★	9.1万人	10.3万人
沼島汽船乗船者数	12.8万人	13.0万人

基本施策
Ⅲ-5-4

公共施設等の最適な配置の実現

<めざす姿>

- 市民生活に不可欠な公共施設等が適切に配置されている

<主な成果指標（例）>

指標名	現状（H27）	目標（H33）
公共施設の統廃合又は大規模修繕等施設数	0施設	5施設



～大好きなわたしたちのまち南あわじ市～ 絵画コンクール特選作品



松帆小学校 2年 池田 涼乃



北阿万小学校 5年 中野 喬佳



南淡中学校 3年 矢野 彩乃

南あわじ市は、平成 27 年 1 月 11 日に市制 10 周年を迎えました。

この 10 周年を記念し、次世代を担う小・中学生の子どもたちを対象に、作品制作を通じて、わがまち南あわじ市を改めて見つめなおす機会を提供することにより、南あわじ市の良さ、魅力の再発見や、南あわじ市への想いや愛着感の高揚を図ることを目的として実施しました。

※受賞した方の学年は平成 27 年 11 月現在、敬称略



だから住みたい 南あわじ ～人がつながる 笑顔あふれる ふるさとづくり～ 第 2 次南あわじ市総合計画 【概要版】

発 行：平成 29 年 6 月
編 集：南あわじ市企画部ふるさと創生課
住 所：〒656-0492 兵庫県南あわじ市市善光寺 22 番地 1
T e l / F A X：0799-43-5205/0799-43-5305
ホームページ：<http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/>